

明忍伝一覽表

書名	成立・刊行	記述	著者など	成立経緯など	備考
① 『開山明忍律師 仮名行状』	承応元年（一六五二）成立。	和漢文	堯遠不筈（西明寺第十二代自誓受戒）。	親族を含む明忍を知る者からの聞き書きなどを元に書かれた現存最初の明忍伝。	「大日本史料」第十二編第七冊（慶長十五年六月七日条）。
② 『慎尾平等心王 院興律始明忍 律師行業記』 『神山集（洪之 卷）』	寛文四年（一六六四）成立、延宝二年（一六七四）年 版行。	漢文	西明寺藏本は日蓮宗深草元政が執筆したもの を、翌年西明寺で筆写 したもの。	日蓮宗出身の省我惟空（西明寺第十五回自誓受戒）が①『行状』を文才で知られた元政の許に持参し執筆を依頼	「大日本史料」第十二編第七冊（慶長十五年六月七日条）。 西明寺自筆本藏。（前掲29リストのキウウ3）卷子装。
③ 『横尾山開律元 祖明忍律師』 『日本古今往生 略伝』	延宝八年（一六八〇）成立、天和三年（一六八三）五月版行。	漢文	浄土宗僧侶山本治斎 （道竹軒）。	②『行業記』を参照したと書かれる。	大谷大図書館。
④ 『明忍伝』 『新御伽婢子』	天和三年（一六八三）版行。	仮名草子	編集・西村市郎右衛門 （未達）。	『新御伽婢子』の最終話。運化の奇瑞が中心。自筆原 本か①『行状』、またはそれらの写しを参照か。	『新御伽婢子』（古典文庫第四四一、一九八三）に翻刻掲載。
⑤ 『洛西横尾山所 蔵毘尼中興明忍 大和尚絶筆真 跡』	貞享元年（一六八四）か、延享元年（一七四四）以降か、「甲子」年の成立。	和漢混交 漢文・漢文	丹鳳城西北黄金閣下大 北山村神宮寺僧、八木 某刻、京の喜邨行納堂 刷。	明忍自筆『臨終瑞相』の筆跡を写して摺る。 付記された漢文による説明文は、⑥文中の表現に似る。	「石摺」（宮島コレクション所蔵）。
⑥ 『慎尾平等心王 院故弘律始祖明 忍和尚行業曲 記』	貞享四（一六八七）成立、元禄十六（一七〇三）版行。	漢文	黄檗僧月潭道澄の撰。 西明寺が能書家の道澄 に執筆を依頼した。	①②と書簡及び建仁寺松堂宗植が若し頃訪れた対馬で伝聞した内容を編纂したもの。	「大日本史料」第十二編第七冊（慶長十五年六月七日条）。 西明寺自筆本藏。（前掲29リストの3-1）袋綴装。道澄は沙弥として西明寺僧坊にて修行。
⑦ 『横尾山明忍律 僧伝』『東国高 僧伝』	貞享五年（一六八八）版行。	漢文	清国からの渡来黄檗 僧、高泉性激の編纂。	⑥からの引用がみられる。	『東国高僧伝』（仏書刊行会『大日本仏教全書』一〇四 大法輪閣 二〇〇七）。
⑧ 『緇白往生伝』 （巻之中 冒頭）	元禄二年（一六八九）版行。	漢文	壬生安養庵の浄土僧了 智による往生伝。	刊行後の②を読んだ書いた と思われる。	『緇白往生伝』（仏書刊行会『大日本仏教全書』一〇七 大法輪閣 二〇〇七）。
⑨ 『横尾平等心王 院俊正忍律師 傳』 『律苑僧 宝伝』	元禄二年（一六八九）版行。	漢文	近江国東方山安養寺中 興開山、戒山慧堅。	⑥より多くの引用がみられる。	本仏教全書』一〇五 大法輪閣 二〇〇七）。
⑩ 『明忍』 『律門西生録』	湛堂慧淑撰（一六九二）を希園慧鏡が寛政八年（一七九九）に書写。	漢文	東方山安養寺二世湛堂 慧淑撰、安養寺七世希 園慧鏡書写。	律門に在り浄土往生を成就した中国と日本の先徳四四名の略伝。明忍について簡略化した記述。	関口静雄「湛堂慧淑撰『律門西生録』翻刻と解題」（『学苑』九一三二〇一六）。
⑪ 『横尾山路縁 起』『横尾山路 縁起并流記』	元禄十四年（一七〇一）成立。	漢文	智本理澄（西明寺第十 四回自誓受戒）著。	⑥を一部編集したものと 思われる。	西明寺藏。（前掲29リストの8-14）。 『戒律伝播の研究』に翻刻掲載。その一部が⑥を編集した明忍伝。
⑫ 『洛西横尾山沙 門明忍伝』 『本朝高僧伝』	元禄十五年（一七〇二）年版行。	漢文	臨濟宗元師蜜編纂。	⑨を引用した部分が多い。	『本朝高僧伝』下巻（長井真琴校訂、春陽堂 一九三五）。
⑬ 『中興横尾山西 明寺俊正明忍 律師塔銘』	元禄十六年（一七〇三）。	漢文	月潭道澄。	⑥を踏襲する内容。月潭の文を智本理澄・雲松実道ら が五輪塔の石に彫り、対馬 に運んだ	西明寺藏。（前掲29リストの13-B）。
⑭ 『律法中興縁由 記』	江戸時代後期成立、出版は長谷宝秀（一九二六）。	和漢混交	慈雲道光が、師・忍綱 眞紀から聞いた伝記を 『瑜伽戒本』の裏面に 書きつけた。	②の書名が書かれるため、 参照したと思われる。	『慈雲尊者全集』第六卷（思文閣出版一九七七）（高貴寺一九二六年の復刻版）。『慈雲尊者全集』編纂の際、独立した評伝として掲載。
⑮ ⑥の転写、「名 士賢女之墓」明 忍の項他。明忍 記述多い。 『海岸寺縁起』	写本として昭和四年（一九二九）成立時は享保頃？	漢文	享保頃の第八世・速誉上人が「海岸寺記録五冊を編記せり」とあることか。	昭和四年に、古記録を参照して書写・編集したと考えられる。その後の追記もある。	明忍墓所在の対馬海岸寺（浄土宗）の縁起。明忍に関する記述が何ヶ所か見られ、特に『行業曲記』全文が転写されている。